

ING! 熱いハートを撃ちぬけ!

# 読響

Yomiuri  
Nippon  
Symphony  
Orchestra

名門モンテカルロ・フィルの芸術監督  
生命力あふれる音楽で世界を魅了!

## 出撃! シン・ヤマカズ

YAMAKAZ attacks!!  
ゴジラとカリニコフを攻める!

**KAZUKI YAMADA** Conductor

山田和樹 読響首席客演指揮者

**ALBINA SHAGIMURATOVA** Soprano

アルбина・シャギムラトヴァソプラノ

**IFUKUBE: SYMPHONIC FANTASIA NO. 1**

伊福部昭: SF交響ファンタジー第1番

**GLIERE: CONCERTO for COLORATURA SOPRANO** op. 82

グリエール: コロラトゥーラ・ソプラノのための協奏曲 作品82

**KALINNIKOV: SYMPHONY NO. 1** in G minor

カリニコフ: 交響曲第1番 ト短調

**SUBSCRIPTION CONCERT NO. 589**

読売日本交響楽団 第589回 定期演奏会 2019年6月13日・木曜・19時 サントリーホール

**THURSDAY 13th JUNE 2019**

S¥7,500 A¥6,500 B¥5,500 C¥4,000

**19:00 SUNTORY HALL**

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

天まで突きぬける高音!  
世界で聴衆を虜にする歌姫

©Pavel Vaan/Leonid Semenyuk

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人花王 芸術・科学財団

協力: アフラック

©読響

# ゴジラ&カリンニコフ 山田和樹と読響の 熱い夜

今年1月、山田和樹は読響で3プログラム、5公演を指揮し、旋風を巻き起こした。公演を重ねる毎に、山田と読響は互いの呼吸を合わせ合い、音楽の表現を深めていった。あれから約半後、6月《定期》は、山田らしい重量級の曲目が選ばれた。

1曲目は、2016年の映画「シン・ゴジラ」で再び人気を沸騰した「ゴジラ」のテーマをはじめ、「宇宙大戦争」や「怪獣総進撃」などの伊福部昭による映画音楽を集めたSF交響ファンタジー第1番。北海道に生まれ、アイヌの民俗音楽などを取り入れた伊福部だが、ロシア人作曲家A.チェルプニンに認められて師事するなど、ロシア音楽とも親和性が高い。山田のタクトは、伊福部特有のリズムの執拗な反復や民俗的旋法などを鮮やかに描き出し、特撮映画の迫力をオーケストラで表すことだろう。貴重な“生ゴジラ体験”をお聴き逃しなく。

2曲目はグリエール作曲「コロラトゥーラ・ソプラノのための協奏曲」。器楽の協奏曲ではなく、声楽のための珍しい協奏曲。独唱パートに歌詞はなく、ヴォカリーズで歌われ、まさに声のテクニクだけでソロを務める難曲である。今回、ソリストを務めるのは、世界的ソプラノ歌手のアルビナ・シャギムラトヴァ。ウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、パリ・オペラ座など世界の最高峰のオペラ・ハウスでモーツァルトの歌劇「魔笛」の“夜の女王”役を歌ってきた、まさにコロラトゥーラの歌姫。声の芸術を存分に堪能していただきたい。

メインは、34歳で夭折した作曲家カリンニコフの代表作、交響曲第1番。カリンニコフは、ロシア国民楽派の伝統を汲み、チャイコフスキーを思わせる抒情的な旋律と温かい響きが特徴的な作風を持つ。彼の生涯は不運の連続で、経済的に困窮する中、肺結核との闘病をしながら作曲活動をした。この交響曲第1番も、闘病の間を縫って書いたもので、友人の助けを借りてどうにか出版にこぎつけたものだ。ロシア民謡風の親しみやすいメロディや雄大なドラマティックな展開は、映画音楽的にも感じるものだ。第2楽章の哀愁を帯びた旋律は美しく、最終楽章は第1楽章の主題が回帰し、劇的に盛り上がり、最後は大団円となる。山田と読響の熱い夜が訪れそうだ。

## アルビナ・シャギムラトヴァ (ソプラノ) ALBINA SHAGIMURATOVA, Soprano

世界各地の聴衆を魅了するコロラトゥーラの歌姫。ウズベキスタンのタシケント生まれ。2007年チャイコフスキー国際コンクール優勝。ムーティの指揮でザルツブルク音楽祭にモーツァルトの歌劇「魔笛」の“夜の女王”役で欧州オペラ・デビュー。以後、同役をウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、バイエルン国立歌劇場、英国ロイヤル・オペラ、パリ・オペラ座など世界の一流劇場で歌い、絶賛されている。また、ドニゼッティの歌劇「ランメルモールのルチア」のタイトルロールを、ベルリン・ドイツ・オペラやマリインスキー劇場などで歌っている。これまで、メータ、フリューベック・デ・ブルゴス、ゲルギエフ、バブバーノら巨匠と共演している。今回、読響と初共演。



©Pavel Vaan/Leonid Semenyuk

## 山田和樹 (読響首席客演指揮者) KAZUKI YAMADA, Conductor

国際的に活躍する日本が誇る次世代の旗手。2018年4月より読響首席客演指揮者を務める。1979年、神奈川県生まれ。東京芸術大学指揮科卒業。松尾葉子、小林研一郎の両氏に師事。2009年、プザンソン国際指揮者コンクールに優勝。BBC響を指揮して欧州デビュー、M.ブラッソンの代役でバリ管を指揮して絶賛された。ベルリン放送響、サンクトペテルブルク・フィル、フランクフルト放送響、フィルハーモニア管、ドレスデン・フィル、チェコ・フィルなどへ客演。17年にはコーミッシュェ・オーバーにデビューを果たし、好評を博した。スイス・ロマンダ管首席客演指揮者を経て、現在はバーミンガム市響の首席客演指揮者、モンテカルロ・フィルの芸術監督兼音楽監督、日本フィル正指揮者、東京混声合唱団音楽監督兼理事長の任にある。ベルリン在住。

読売日本交響楽団 第589回 定期演奏会

2019年 6月13日(木) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C ¥4,000

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

■学生券 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。  
■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

\*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

\*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017